



知多市



日本福祉大学

日本福祉大学

街に、ルネッサンス



UR都市機構

独立行政法人都市再生機構中部支社

知多市・日本福祉大学・UR都市機構による連携協定の締結について  
～民間企業とも連携した産学官公協働による地域活性化の取組みを実施～

知多市及び日本福祉大学は、独立行政法人都市再生機構と知多半島で唯一のUR賃貸住宅である、朝倉団地（知多市つつじが丘）及びその周辺地域において、それぞれの資源活用を図り、少子高齢化や外国籍世帯の増加等の地域課題に対応する取組みを協働して実施することにより、地域の活性化や良好なコミュニティの形成等に資することを目的として、連携協定を締結いたします。

なお、知多市と日本福祉大学は、平成 28 年 7 月 27 日付で包括連携協定を締結しており、今回の協定締結により、3 者間で相互に協定を有することとなり、協定に基づく協働した取組みを推進してまいります。

締結式の概要

- |         |                               |                     |           |
|---------|-------------------------------|---------------------|-----------|
| 1 日 時   | 平成 30 年 10 月 23 日（火）13 時 30 分 | ～                   | 14 時 15 分 |
| 2 場 所   | 知多市役所（3 階 第 2 委員会室）           |                     |           |
| 3 署 名 者 | 知多市長                          | みやじま としお<br>宮 島 壽男  |           |
|         | 日本福祉大学学長                      | こだま よしろう<br>児 玉 善 郎 |           |
|         | 独立行政法人都市再生機構中部支社長             | すがぬま あきら<br>菅 沼 明   |           |

お問い合わせは下記へお願いします。

- 知多市  
企画部 企画情報課 電話：0562-36-2639
- 日本福祉大学  
企画政策部 企画政策課 電話：0569-87-2972
- UR都市機構中部支社  
総務部 総務課（報道担当）電話：052-968-3305

## 1 協定締結の経緯

知多市、日本福祉大学及びUR都市機構は、知多市の朝倉団地及びその周辺地域における少子高齢化や外国籍世帯の増加等の地域課題の解決に向けて、地域住民や地域の活動団体等も含めた「朝倉団地及び周辺地区プロジェクト会議」を平成29年6月から定期的に開催し、地域課題の共有・解決に向けた連携体制の構築等について検討を重ねてきました。今般、具体的な取組みについての検討が進んだことから、連携協定を締結し、3者で協同した取組みを本格的に開始することといたしました。

## 2 連携協力事項

- ① 知多市と独立行政法人都市再生機構との地域活性化包括連携協定
  - 一 医療福祉施設等の充実の推進に関する事。
  - 二 子育て支援など若い世代への支援に関する事。
  - 三 介護・医療・見守りなど高齢者世代への支援に関する事。
  - 四 生活環境など外国籍世帯への支援に関する事。
  - 五 多世代・多文化共生の推進に関する事。
  - 六 防犯・防災対策の推進に関する事。
  - 七 住宅のセーフティネットの確保に関する事。
  - 八 地域活性化のための情報交換及び情報共有に関する事。
  - 九 その他双方の協議により必要と認めた事。
  
- ② 日本福祉大学と独立行政法人都市再生機構との連携協定
  - 一 地域の活性化及び良好なコミュニティの形成に関する事
  - 二 少子高齢化に関する事
  - 三 多文化共生支援に関する事
  - 四 上記一～三に関わり、日本福祉大学学生の朝倉団地住戸への居住に双方が協力して取り組む事
  - 五 その他前条目的を達成するため、双方による取組みが必要と認められる事
  
- ③ 知多市と学校法人日本福祉大学との包括連携に関する協定(平成28年7月27日付締結済み)
  - 一 まちづくりと地域の活性化に関する事
  - 二 教育・人材育成に関する事
  - 三 健康・福祉に関する事
  - 四 文化・スポーツの振興に関する事
  - 五 国際化に関する事
  - 六 その他本協定の目的に資する事

## 3 協定を踏まえた具体的な取組み

- ① 朝倉団地への日本福祉大学の学生居住の推進
  - ・ 学生向けに改修した住戸の供給や家賃割引制度の活用。
  - ・ 学生の地域活動への参加による地域活性化やミクストコミュニティの形成。
- ② 団地内空き店舗を活用したDIYによるコミュニティスペースの開設及び各種イベントの実施
  - ・ 学生や地域住民、地域の活動団体と連携してDIYによるコミュニティスペースの開設。
  - ・ 完成したコミュニティスペースを活用したサロンや各種イベントの実施。
  - ・ 地域の活動団体や企業と連携した健康増進、多文化共生等に係る取組みの推進。

#### 4 その他

- ① 日本福祉大学では、知多半島5市5町をフィールドとして、「地域共生社会の実現に向けた地域包括支援体制構築の戦略 ～0歳から100歳のすべての人が安心して暮らせる地域づくりをめざして～」をテーマに研究に取り組んでおり、朝倉団地においても、「住まい確保・住環境整備」の観点での研究プロジェクトを知多市及びUR都市機構と連携して進めています。
- ② UR都市機構では、平成26年度から少子高齢化への対応や地域包括ケアシステムの構築に資するため、豊かな屋外環境を備え、多くの方々が住まう団地を“地域の資源”として活用し、地域に必要な住宅・施設・サービスの整備を推進する「地域医療福祉拠点化」に取り組んでいます。  
今回の知多市及び日本福祉大学との協定締結を契機として、朝倉団地においても、平成30年10月から本取組みに着手しております。

以上

#### ■朝倉団地概要

所在地：愛知県知多市つつじが丘1丁目14他  
交通：名鉄常滑線「朝倉」駅よりバス約5分  
戸数：1,191戸 / 管理開始：昭和48年～

(団地周辺図)



(団地写真)



(朝倉団地及び周辺地区プロジェクト会議の様子)

